

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら厚木恩名教室		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 21日 ～ R7年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	R6年 12月 21日 ～ R7年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご家族のニーズを療育に反映できている。	・定期的に面談やフィードバックを行い、保護者の意向を確認している。	・職員間で話し合ったり、支援のやり方について学びの場を設ける。
2	・児童の送迎を事業所で担っている。	・保護者の負担減少につながる。	・引き続き可能な範囲で要望に応じていく。
3	・SST、小集団での療育を行っている。	・道具の貸し借りや遊びの輪への入り方、全体指示を聞くことなど集団療育ならではの経験ができる。	・お友だちと関わるきっかけ作りや遊び方を伝えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・言語聴覚士など、専門的な支援を行える人員が少ない。	・細かい部分での支援の仕方。	・研修や勉強会へ参加し、指導員のスキルアップを目指す。
2	・利用枠の問題でキャンセル待ちが増えている。	・固定曜日の偏りなどで希望に応えられないケースがある。	・引き続き、利用枠が空き次第ご案内するほか、空き枠のある曜日への振り替え利用を提案するなど行う。
3	・熱中症アラートが出ると出掛けられる先が少ない。	・屋内で過ごせる市内の無料施設が限られている。	・利用料金がかかる場所でも行けるよう、保護者にも協力を仰ぐ。また、市外を含めて屋内で遊べる場所を探す。